

令和4年度森林環境譲与税の使途について

収入額：23,182千円

【充当額等内訳】

単位：千円

No.	使 途	事業費	充当額
1	区立小中学校で使用する学習机・椅子について、国内産木材を使用した製品を購入	15,130	7,566
2	区立小中学校の普通教室化工事について、国内産の木材を活用して実施	9,607	4,222
3	交流都市である福島市内の森林を整備し、植樹体験などのイベントを実施	3,394	3,394
4	区有施設等の新築や改修時に効果的に活用するため、公共施設等整備基金へ積立て	8,000	8,000

東京都荒川区（自治体間連携による森林整備事業）

- 荒川区では、友好都市協定を締結している福島県福島市と令和4年5月に「荒川区と福島市との森林整備の実施に関する協定」を締結。
- 同年度より、福島市の市有林の一部を「あらかわの森」と名付け、相互に連携・協力して整備する事業を開始した。本事業では、子どもたちを中心に植樹体験や各種交流イベントを行うなど、森林整備・環境交流事業等の実施と地球温暖化対策の推進の両立を図る。

□ 事業内容

森林整備

- ・ 令和4年11月に、区内在住の小学生とその保護者を対象とした『親子でつくる「あらかわの森」植樹ツアー』を2回実施し、親子20組40名が参加
- ・ ツアーでは荒川区民と福島市民による植樹体験や丸太切り体験などのほか、周辺自然林の散策等を実施

【事業費】3,394千円（うち譲与税3,394千円）

（譲与税は、植樹ツアーの実施費用や「あらかわの森」の維持管理等業務委託に係る部分に充当）

【実績】土地造成及び植樹

□ 取組の背景

- ・ 荒川区では、令和3年6月に「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明。この表明に基づき、「脱炭素社会」へ転換していくための対策をより具体的に示し、実践していくため、その対策の一つとして、友好都市である福島市と連携・協力し、地球温暖化対策の推進及び森林の保全や地域交流の促進を目的に新たに森林環境譲与税を活用した森林整備事業を開始した。



（記念植樹の様子）



（植樹体験の様子）



（丸太切り体験の様子）

□ 工夫・留意した点

- ・ 荒川区と福島市が相互に連携・協力して、森林整備だけでなく、森林を活用した親子で楽しめる様々な交流事業などを組み込んで実施した。
- ・ 連携先の自治体と整備対象林の状況を踏まえて、整備場所や規模等を決定した。
- ・ 森林整備に関する技術的専門性を確保するため、現地森林組合への維持管理等業務委託も活用し、適正な事業実施に努めた。

□ 取組の効果

- ・ 「あらかわの森」を触媒とした区民への自然体験機会の提供や環境意識の醸成等が図られるとともに、福島市との住民間の交流の促進と地域の経済活性化に貢献できた。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：23,182千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：217,475人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より